

タッチパネルデジタルサイネージコンテンツ作成ソフト

エディットサイネージ

バンドルバージョン

コンテンツの伝送 (送信)・動画の設定・スケジュール表示設定の方法

GV09-T106-0800
2021.3.25

目次

1.	概略	2
1.1	はじめに	2
1.2	コンテンツ作成とサイネージ端末（ディスプレイ）への伝送	3
2.	エディットサイネージでネットワークの確認をする	4
2.1	Wi-Fi ポータブルルーターの準備	4
2.2	エディットサイネージのネットワーク設定を確認する	5
3.	UDP コマンドを起動する	6
3.1	UDP コマンド画面のボタンについて	6
3.2	UDP コマンドの設定と基本操作	8
3.3	各ボタン設定とプロパティダイアログボックスについて	9
4.	コンテンツをサイネージ端末に伝送（送信）する	13
4.1	エディットサイネージからコンテンツ「伝送」を行う	13
4.2	UDP コマンドで伝送したコンテンツをサイネージ端末に表示する	14
5.	サイネージスケジュール管理ボタンを使用する	15
5.1	スケジュール設定をする	15
5.2	時間設定表示したいページのコマンドをコピーする	16
5.3	スケジュールの週間表示設定をする	18
6.	コンテンツに動画を設定する	19
6.1	すでに準備されているコンテンツを使用して動画を設定してみる	19
6.2	アイテムを追加して動画再生を設定する枠を作る	20
6.3	動画再生設定マクロを、他のコンテンツからコピーして使用する	22
7.	JPEG コンバーターについて	27
8.	バンドル版「エディットサイネージ」を PC にコピーする	28
8.1	コンピューターの Windows(C:) の直下にフォルダを作成する	28
8.2	「エディットサイネージデータ」フォルダについて	29
9.	サンプルコンテンツの再生と利用	30

1. 概略

1.1 はじめに

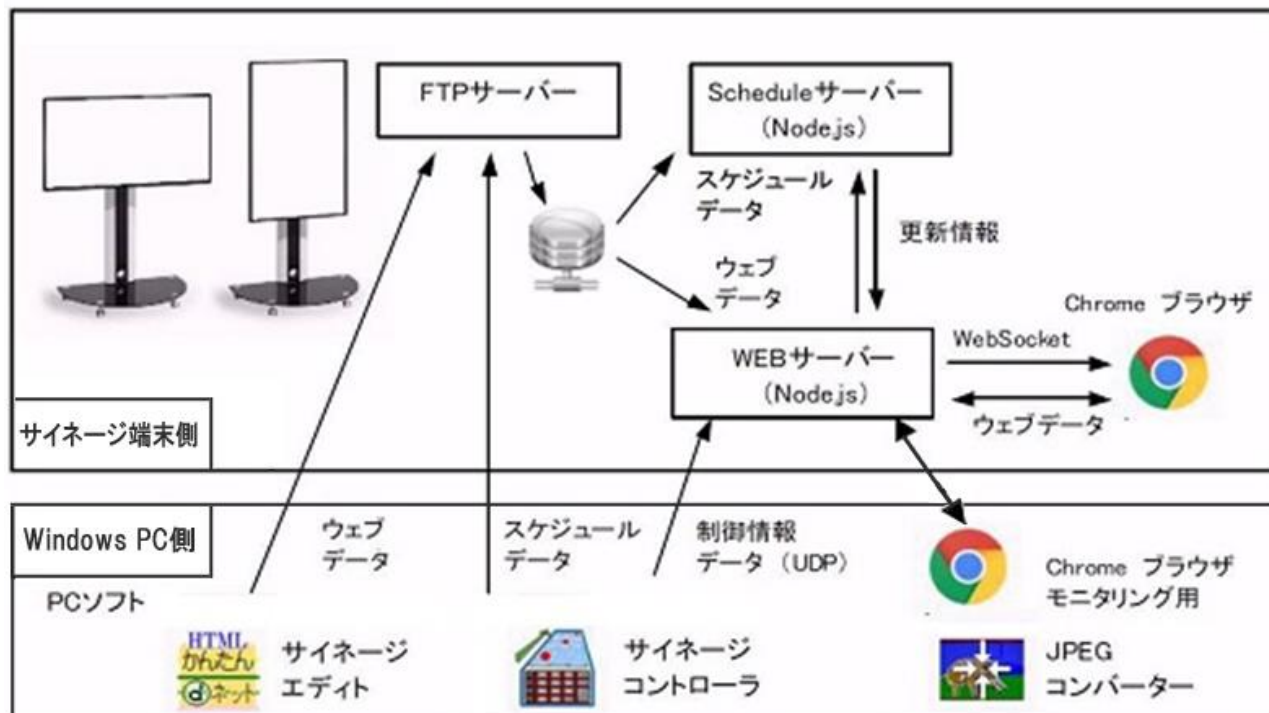
EditSignage(エディットサイネージ)システムは「エディットサイネージ」、「サイネージコントローラー (UDP コマnder)」、「JPEG コンバーター」の3つのソフトウェアからなる Goodview 社製タッチパネルデジタルサイネージディスプレイ用のコンテンツ作成・運用システムです。

バンドルバージョンでは「エディットサイネージ」を用いてお手持ちの Windows PC でタッチパネルに対応したコンテンツの作成・編集・伝送を行い、「サイネージコントローラー」によってサイネージ端末 (ディスプレイ) にコンテンツの表示・更新をします。

※ 本書では「コンテンツをサイネージに伝送する方法」を中心に解説します。

※ 下図は本システムの概念図です。サイネージ端末 (ディスプレイ) とコンテンツを作成するお使いの Windows PC との関係を表しています。

■システム概念図



1.2 コンテンツ作成とサイネージ端末（ディスプレイ）への伝送

作成・編集されたコンテンツは、「エディットサイネージ」のメニューの「ネットワーク」の中に準備されている「ネットワーク設定」、「伝送実行」によってサイネージ端末にコンテンツを伝送します。

サイネージ端末に伝送したコンテンツをディスプレイに表示させるには、「サイネージコントローラー（UDP コマンド）」に準備されている「メニューコンテンツボタン」をクリックしてください。

※ 本ソフトウェアのインストール方法は、別紙「GV09_A101_0100_EditSignage_read_me.pdf」の EditSignage のコピーする手順書」をご確認するか、本書 8 項 をご覧ください。

以下からコンテンツをサイネージ端末に伝送するための手順を説明します。

最初に「エディットサイネージ」と「サイネージコントローラー（UDP コマンド）」を起動します。

PC のデスクトップに作成したショートカットキー「サイネージ編集フォルダ」をダブルクリックしてください。フォルダ内に準備されている下記ショートカットアイコンをダブルクリックします。

■バンドル版エディットサイネージのショートカットアイコン



ダブルクリックで「エディットサイネージ」が起動します。

■サイネージコントローラー（UDP コマンド）のショートカットアイコン



ダブルクリックでサイネージコントローラー（UDP コマンド）が起動します。

サイネージコントローラー（以後 UDP コマンドと呼称）は、伝送されたコンテンツの表示・更新のほかに、コンテンツを構成している特定のページをサイネージ端末に表示する時間の設定や、表示されているコンテンツの切り替えなど PC から遠隔操作をすることが可能です。

2. エディットサイネージでネットワークの確認をする

2.1 Wi-Fi ポータブルルーターの準備

ご購入になったサイネージ端末（ディスプレイ）にはWi-fi ポータブルルーターが同梱されています。Wi-fi ポータブルルーターを電源（コンセントや電源タップ）につなげてください。このルーターを経由してサイネージ端末とコンテンツを作成するPCが通信します。

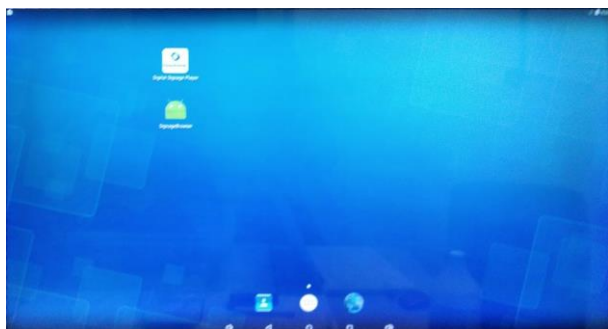


同梱のルーター※上記は一例です

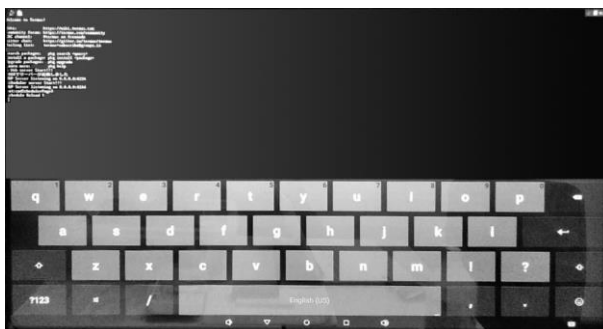
- パスワードなど、詳しい使用方法・接続方法はWi-fi ポータブルルーターの取扱説明書をご確認ください。
- お使いのPCで設定を行い、Wi-fi ポータブルルーターを認識させてください。（サイネージ端末は設定済み）
- Wi-fi ポータブルルーターは、サイネージ端末/PCと問題なく認識できる環境に設置してください。

（お互いの距離が遠い、障害物が多い場合などは認識が不安定になります。※コンテンツデータ伝送がうまくいかない場合があります。）

■参考：サイネージ端末の電源をONにすると下記の3つの画面がディスプレイにそれぞれ10秒程表示され、その後サイネージ端末にセットしてあるマイクロSDカードに保存されているサンプルコンテンツがディスプレイ表示されます。



※1 番目表示画面：アイコン表示



※2 番目表示画面：キーボード表示



※3 番目表示画面：日付・時間など設定項目の表示

- それぞれの表示画面においてお客様が設定を行うことは基本的にありません。
- サイネージ端末にセットしてある「マイクロSDカード」は、サイネージ端末から取外さないでください。

2.2 エディットサイネージのネットワーク設定を確認する

エディットサイネージを起動しファイルの「開く」から作成・編集したコンテンツを表示してください。もしくは「9 項」を確認し、すでに準備されている「ホテルメニューコンテンツ.bjpx」を表示してください。メイン画面にコンテンツが表示されたらメニューの「ネットワーク」から「ネットワーク設定」を選択します。

下図のように「ネットワーク設定」のダイアログボックスが表示されます。



上記の「ネットワーク設定」記載されている内容を確認してください。これはデフォルトで設定されています、新たに設定をする必要はありません、この状態でコンテンツの伝送を行います。

下記に「ネットワーク設定」デフォルトの設定値を明記しておきます。

※設定値が変わってしまった場合は下記の値に修正し、「OK」をクリックしてください。

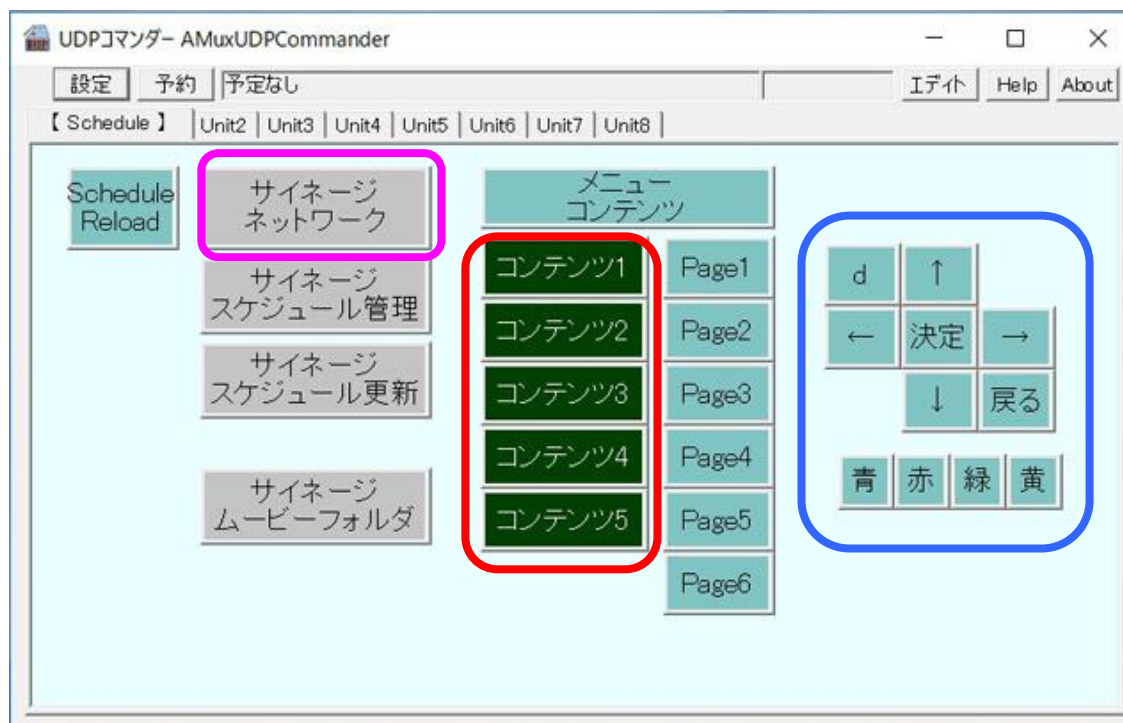
アクセス	GoodView	サイネージ端末の名称
サーバー IP Address	192.168.2.10	サイネージ端末のネットワーク IP アドレス (固定)
Port	5021	サイネージ端末の FTP アクセス用ポート番号 (固定)
PASV	何も書きません	FTP アクセスモード
User	signage	FTP ユーザー
Password	signage	FTP パスワード
書き込みフォルダ	wwwroot	FTP データを書き出すフォルダ

3. UDP コマンドーを起動する

3.1 UDP コマンドー画面のボタンについて

UDP コマンドーによってお使いの PC からサイネージ端末のコンテンツを表示・更新したり、特定の画面を遠隔操作で表示、あるいはタイマー設定で表示させたりすることが可能です。

※ここでは「バンドル版」のUDP コマンドー画面を説明します。



- 注意・上図にある「サイネージネットワーク」ピンク枠ボタンの設定を、「エディットサイネージのネットワーク設定」と同じ設定にしてください。
- ・バンドル版エディットサイネージは1つのコンテンツしか利用できません。
したがって赤枠ボタン「コンテンツ1～5」は使用できません。
- ・青枠ボタンは操作マクロが登録済みです。ただしリモコンキーをハンドルできるコンテンツのみ有効です。

※下記は「各ボタン名称（上段）」、ならびに各ボタンに設定されている「サイネージ用のコマンド（下段）」とその機能の説明です。

<table border="1"> <tr> <td>Schedule Reload</td> </tr> <tr> <td>!RELOAD_SCHEDULE</td> </tr> </table>	Schedule Reload	!RELOAD_SCHEDULE	<p>サイネージ端末に設定されたスケジュールのリロードを行います。</p> <p>スケジュールデータを反映させます。</p>	
Schedule Reload				
!RELOAD_SCHEDULE				
<table border="1"> <tr> <td>サイネージネットワーク</td> </tr> <tr> <td>[SCHEDULE_NETWORK]</td> </tr> </table>	サイネージネットワーク	[SCHEDULE_NETWORK]	<p>UDP コマンドからアクセスするサイネージ端末の FTP サーバーの IP アドレスなどを設定します。</p> <p>エディットサイネージの「ネットワーク設定」と同じ設定にしてください。</p>	
サイネージネットワーク				
[SCHEDULE_NETWORK]				
<table border="1"> <tr> <td>サイネージスケジュール管理</td> </tr> <tr> <td>[SCHEDULE_SERVER]</td> </tr> </table>	サイネージスケジュール管理	[SCHEDULE_SERVER]	<p>スケジュール管理表を表示します。コンテンツを構成しているページの中から特定のページを選択し、表示時間を設定します。</p> <p>1 回だけ表示から週間の設定も可能です。※5 項目もご確認ください。</p>	
サイネージスケジュール管理				
[SCHEDULE_SERVER]				
<table border="1"> <tr> <td>サイネージスケジュール更新</td> </tr> <tr> <td>[SCHEDULE_UPDATE]</td> </tr> </table>	サイネージスケジュール更新	[SCHEDULE_UPDATE]	<p>サイネージスケジュールの更新を行います。</p> <p>「サイネージスケジュール管理ボタン」で設定した「スケジュール管理表」を、このボタンをクリックすることでサイネージ端末に伝送します。</p> <p>1 回の送信をするだけなので、必要に応じて「Schedule Reload ボタン」でスケジュールをリロードして反映させてください。</p>	
サイネージスケジュール更新				
[SCHEDULE_UPDATE]				
<table border="1"> <tr> <td>サイネージムービーフォルダ</td> </tr> <tr> <td>[LIST_FOLDER:Movies]</td> </tr> </table>	サイネージムービーフォルダ	[LIST_FOLDER:Movies]	<p>サイネージ端末に保存されているムービーデータ (mp4 のみ) の表です。</p> <p>クリックして表示された表に、ムービーファイルをドラッグ&ドロップでサイネージ端末に追加・保存されます。また、ムービーデータをサイネージから削除する機能も持っています。※6.3 項目もご確認ください。</p>	
サイネージムービーフォルダ				
[LIST_FOLDER:Movies]				
<table border="1"> <tr> <td>メニューコンテンツ</td> </tr> <tr> <td>cmdscheduleMenu</td> </tr> </table>	メニューコンテンツ	cmdscheduleMenu	<p>このボタンをクリックで伝送したコンテンツをサイネージ端末に表示します。</p> <p>すでに以前のコンテンツがサイネージ端末に伝送されている場合は、新しく伝送したコンテンツを上書きして表示します。※4.2 項目もご確認ください。</p>	
メニューコンテンツ				
cmdscheduleMenu				
<table border="1"> <tr> <td>Page1～Page5</td> </tr> <tr> <td>cmdschedulePage1～</td> </tr> <tr> <td>cmdschedulePage5</td> </tr> </table>	Page1～Page5	cmdschedulePage1～	cmdschedulePage5	<p>ページ移動のコマンドが登録済みです。</p> <p>コンテンツを構成している各ページを割り当てることができます。クリックで登録してあるページをサイネージ端末に表示します。</p> <p>※5.2 項目もご確認ください。</p>
Page1～Page5				
cmdschedulePage1～				
cmdschedulePage5				
<table border="1"> <tr> <td>リモコンキー対応ボタン</td> </tr> <tr> <td>各ボタンの操作マクロが登録</td> </tr> </table>	リモコンキー対応ボタン	各ボタンの操作マクロが登録	<p>ボタン操作コマンドが登録済みです。</p> <p>リモコンキーをハンドルできるコンテンツのみ有効です。(青枠内のボタン)</p>	
リモコンキー対応ボタン				
各ボタンの操作マクロが登録				

3.2 UDP コマンドの設定と基本操作

UDP コマンドはサイネージ端末に設定された UDP コマンド対応ソフトウェアと通信するための画面です。UDP コマンド画面メニューにある「設定」ボタンをクリックし「設定ダイアログボックス」の「UDP Address」に、サイネージ端末に設定されているサーバーの「IP アドレス」と「UDP ポート番号」を設定します。

※お買い上げいただいたサイネージ端末は、上記値がすでに設定されています。お客様に設定していただく項目は基本的にありません。

※「タブ 1～8」毎にボタンを設定・登録することができます。タブ毎に「タイトルの書き込み」が可能で「スケジュール・特設・寸法・機能」など任意に書き込めます。

設定ダイアログボックスを終了するとき警告を表示します。

タブにまたがるコマンドをマクロにすることができます。エディットサイネージでは使いません。

UDP ポート番号「6234」は固定です。UTF-8 のボックスにチェックを入れてください。

タブ毎に設定された UDP コマンド画面の背景に設定されたカラー。

タブ	タイトル	背景	UDP Address	UDP Port	UTF-8
タブ1	Schedule	...	192 . 168 . 2 . 10	6234	<input checked="" type="checkbox"/>
タブ2	Unit2	...	127 . 0 . 0 . 1	0	<input type="checkbox"/>
タブ3	Unit3	...	127 . 0 . 0 . 1	0	<input type="checkbox"/>
タブ4	Unit4	...	127 . 0 . 0 . 1	0	<input type="checkbox"/>
タブ5	Unit5	...	127 . 0 . 0 . 1	0	<input type="checkbox"/>
タブ6	Unit6	...	127 . 0 . 0 . 1	0	<input type="checkbox"/>
タブ7	Unit7	...	127 . 0 . 0 . 1	0	<input type="checkbox"/>
タブ8	Unit8	...	127 . 0 . 0 . 1	0	<input type="checkbox"/>

タブ 1 の UDP コマンド画面で設定・登録したボタンの数が多く、置ききれない場合などに、「タブ 2～タブ 8」を使用します。

ボタンの種類別によって各タブの名前を変えるのも方法です。

UDP コマンドエディットモード表示のグリッド間隔とカラー。

UDP コマンド画面にレイアウトされたボタンやテキストのカラー。

サイネージ端末のネットワーク IP アドレス 192.168.2.10 (固定) です。デフォルトで設定済みです。

ボタンの文字フォント登録。プルダウンからフォントを選択して Set をクリック。Set 後、各ボタンのプロパティのフォント No 欄で番号指定できます。

3.3 各ボタン設定とプロパティダイアログボックスについて

UDP コマンド画面のボタンの追加やレイアウトの変更を行いたい場合に「エディット」をクリックしてエディットモードにします。各ボタンに「赤い文字」が表示され、この状態をエディットモードといいます。

これは UDP コマンド画面を作成するモードです。ボタンをコピーしてボタンの設定変更や場所変更が可能で、UDP コマンド画面を自由に編集することができます。

- 任意のボタンの上で右クリックからプロパティを選択すると、「プロパティダイアログボックス」が表示されます。ボタン色、ボタンサイズ、コマンド、UDP コマンド、そのボタンに登録されているページリスト内の番号など、各ボタンの設定を編集することが可能です。
- ボタン以外の範囲にカーソルを置き、右クリックで「ボタン追加」あるいは「マクロ追加」を選択して新しいボタンの作成ができます。
- 次ページの■UDP コマンド画面のエディットモード画面図で「ブルーグリーンのボタン」がボタン追加を選択して作成した「一般ボタン」です。

エディットモードで任意の「一般ボタン」を右クリックして「プロパティ」を選び、プロパティダイアログボックスを表示してください。既に Command 欄にコマンド文字列が設定され、コマンドが定義されています。

- 次ページの■UDP コマンド画面のエディットモード画面図で「グレーのボタン」がマクロ追加を選択して作成した「マクロボタン」です。マクロ機能を定義できます。

マクロ機能の定義とは「一般ボタン」や「マクロボタン」の Command 欄に記述してある、コマンド文字列をカンマでつなげた文字列を記述して行います。

注意：マクロ定義自体に他のマクロボタンの Command 欄のコマンド文字列を含めることはできません。

マクロボタンの Command 欄のコマンド文字列は「スケジュール機能と UDP コマンド機能」専用です。

- ボタン以外の範囲にカーソルを置き、右クリックで「ファイル化」を選択すると、リモコン定義ファイル（RCP ファイル）を保存できます。バンドル版では特に使用しません。

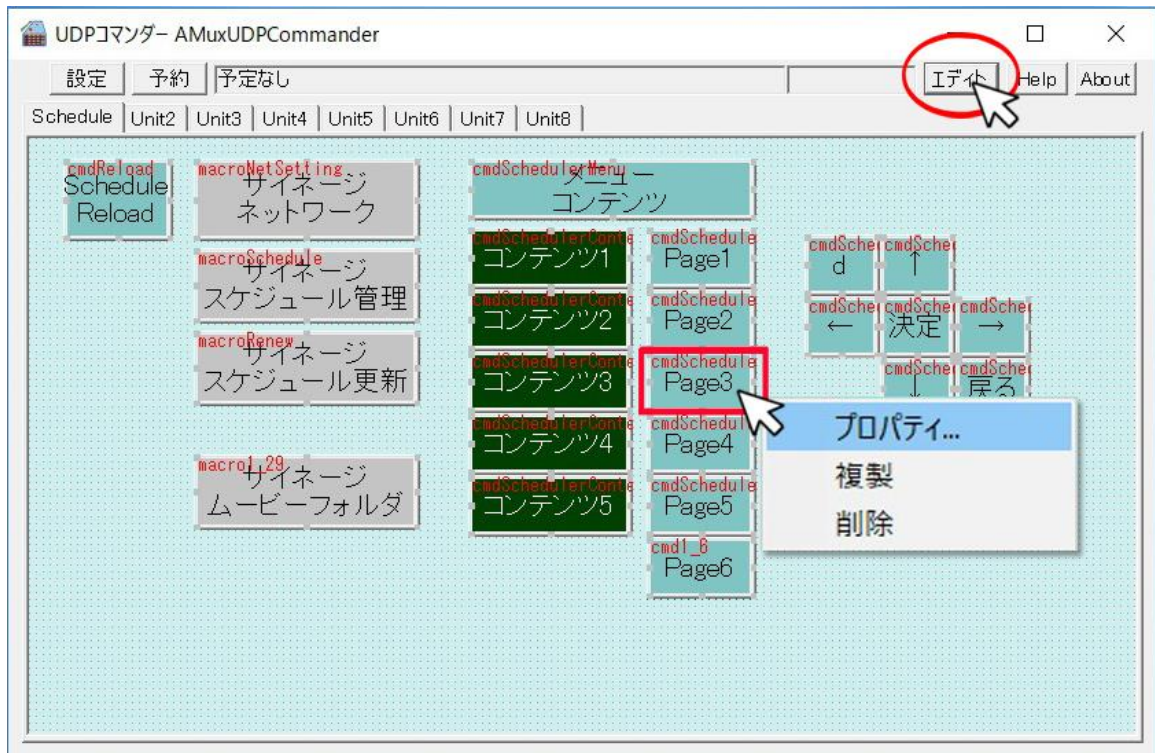
【次ページで UDP コマンド画面のエディットモード画面を参考に説明します。】

「エディット」をクリックして「一般ボタン」Page3の上で右クリック、表示されたメニューから「プロパティ」を選択してください。

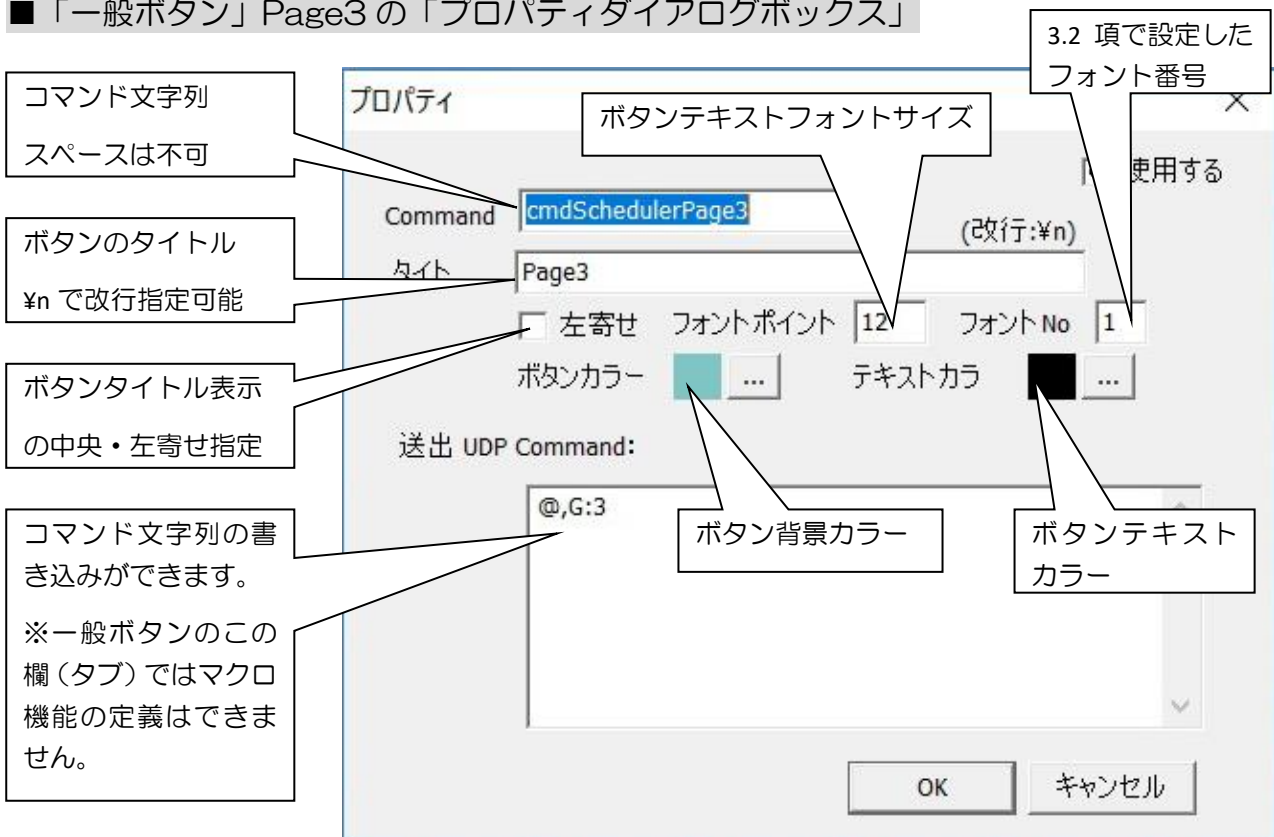
Page3 の「プロパティダイアログボックス」が表示されました。「プロパティダイアログボックス」に明記されている各部機能説明を確認してください。

■UDP コマンドーのエディットモード画面図

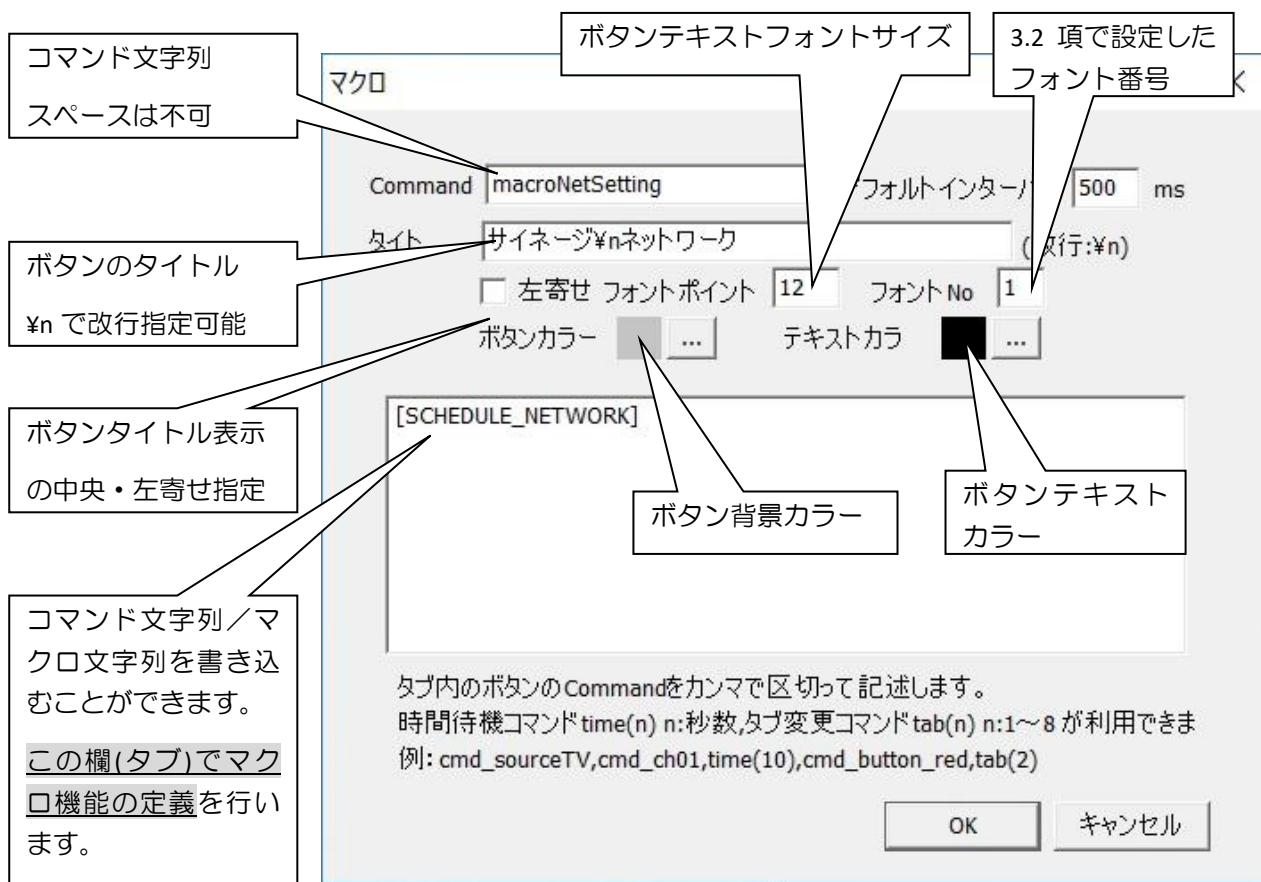
※エディットモードから抜けるには（赤い文字を消すには）、再度「エディット」をクリックします。



■「一般ボタン」Page3の「プロパティダイアログボックス」



■ 「マクロボタン」サイネージネットワークの「プロパティダイアログボックス」画面図



■ マクロボタンの「マクロ機能の定義を行う欄(タブ)」の使用例

- マクロ機能の定義とは「一般ボタン」や「マクロボタン」の Command 欄に記述してある、コマンド文字列をカンマでつなげた文字列を記述して行います。

例：cmdSchedulePage4, cmdSchedulePage5

上記例のマクロ定義がされたボタンをクリックすると、サイネージ端末にページ属性設定ダイアログボックスに設定されている「ページ ID4」を表示し、すぐ(0.5 秒ほど表示)「ページ ID5」に移動します。

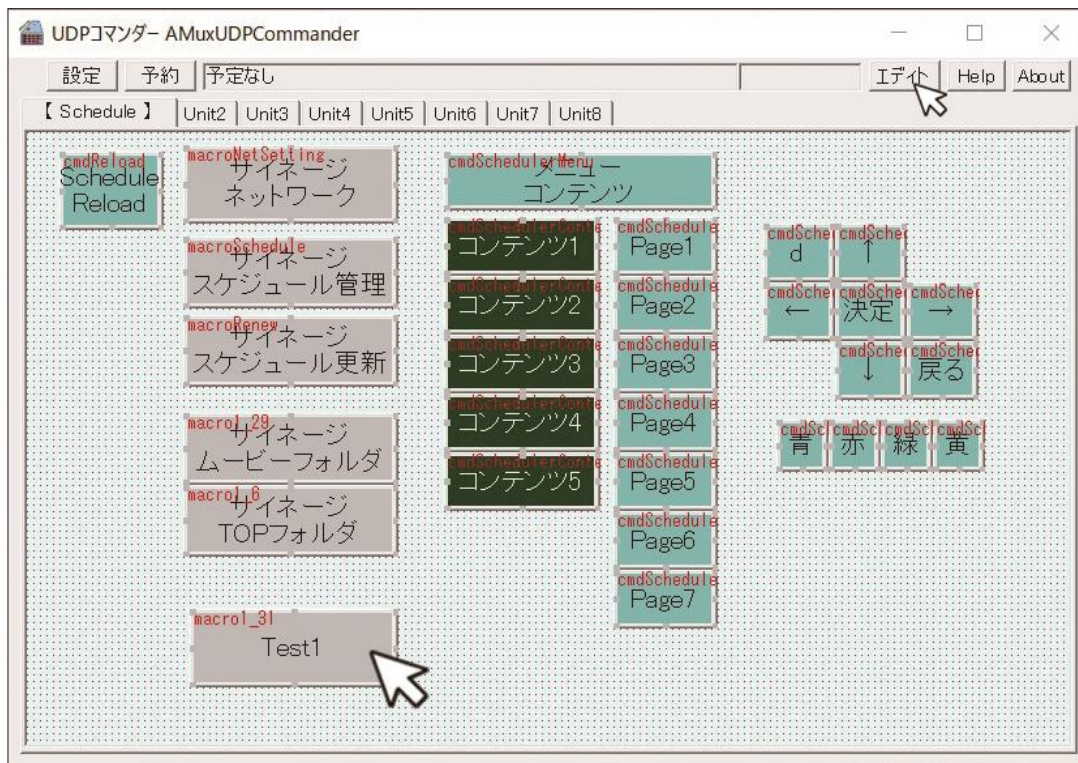
- 特殊文字列として「指定時間待機」の「time コマンド」が指定できます。time(n) コマンドで「n は秒数」を設定します。

例：cmdSchedulePage4, time(30),cmdSchedulePage5

上記例のマクロ定義がされたボタンをクリックすると、サイネージ端末にページ属性設定ダイアログボックスに設定された「ページ ID4」を表示し、30 秒間待機／表示後に「ページ ID5」に移動します。

※次ページの UDP コマンダー・ダイアログボックス画面からの設定方法をご確認ください。

■UDP コマンダーのエディットをクリック、エディットモード画面を表示します



■新しいマクロボタンを作成し、作成したボタンを右クリックでプロパティダイアログボックスを表示します。マクロを定義してOK をクリックします。

新しく作成したマクロボタンの Command 欄は、自動で設定されます。

UDP コマンダーエディットモード画面のタブ 1「Schedule」に置いてあるボタンの数と同じです。

ページ表示のマクロ機能を定義します。

注意：タブ変更コマンド tab(n) n:1~8 はエディットサイネージバンドル版では使用できません。

OK をクリックで完了です。

マクロ

Command デフォルトインターバ ms

タイトル (改行:¥n)

左寄せ フォントポイント フォントNo

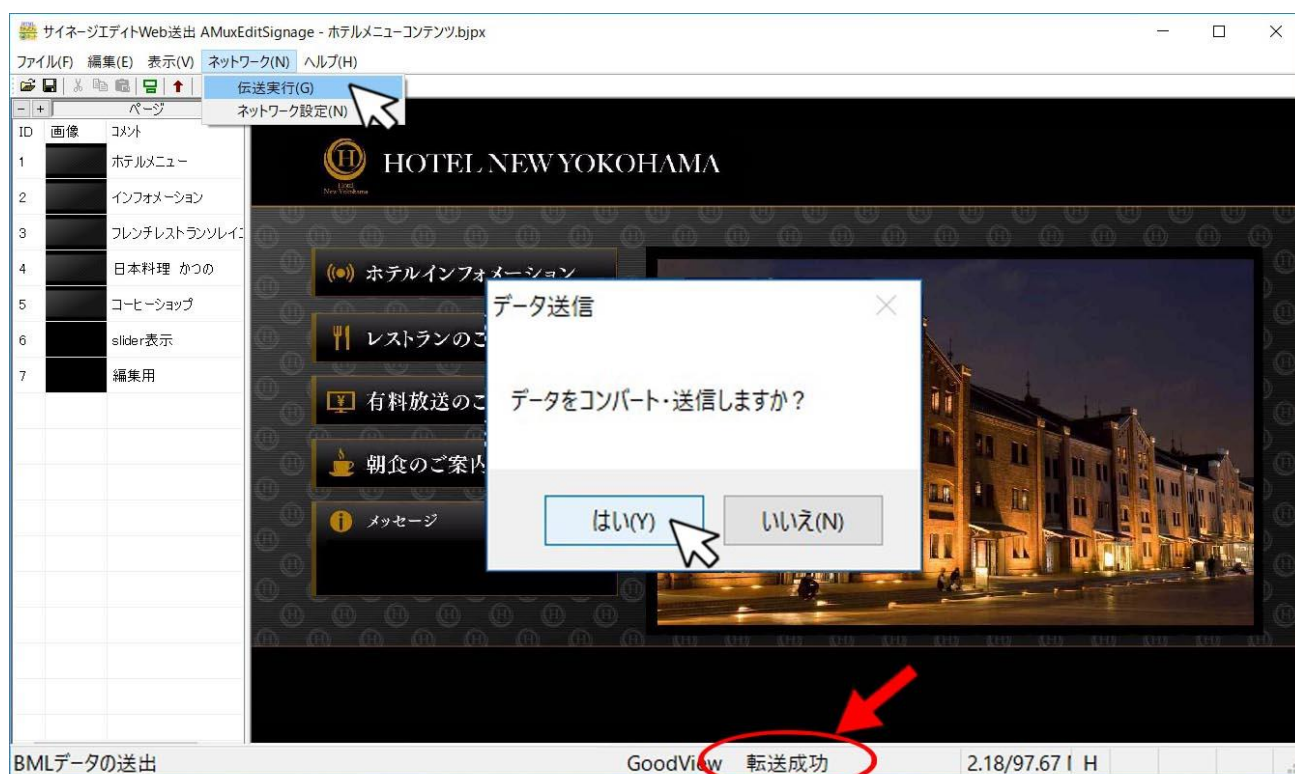
ボタンカラー テキストカラ

タブ内のボタンのCommandをカンマで区切って記述します。
秒数,タブ変更コマンドtab(n) n:1~8 が利用できます
例: cmd_sourceTV,cmd_ch01,time(10),cmd_button_red,tab(2)

4. コンテンツをサイネージ端末に伝送（送信）する

4.1 エディットサイネージからコンテンツ「伝送」を行う

メニューの「ネットワーク」から「伝送実行」を選択してください。
ダイアログボックス「データ送信」が表示されますので「はい」を選択してください。
しばらくすると「メイン画面」の下に「転送成功」と表示されます。

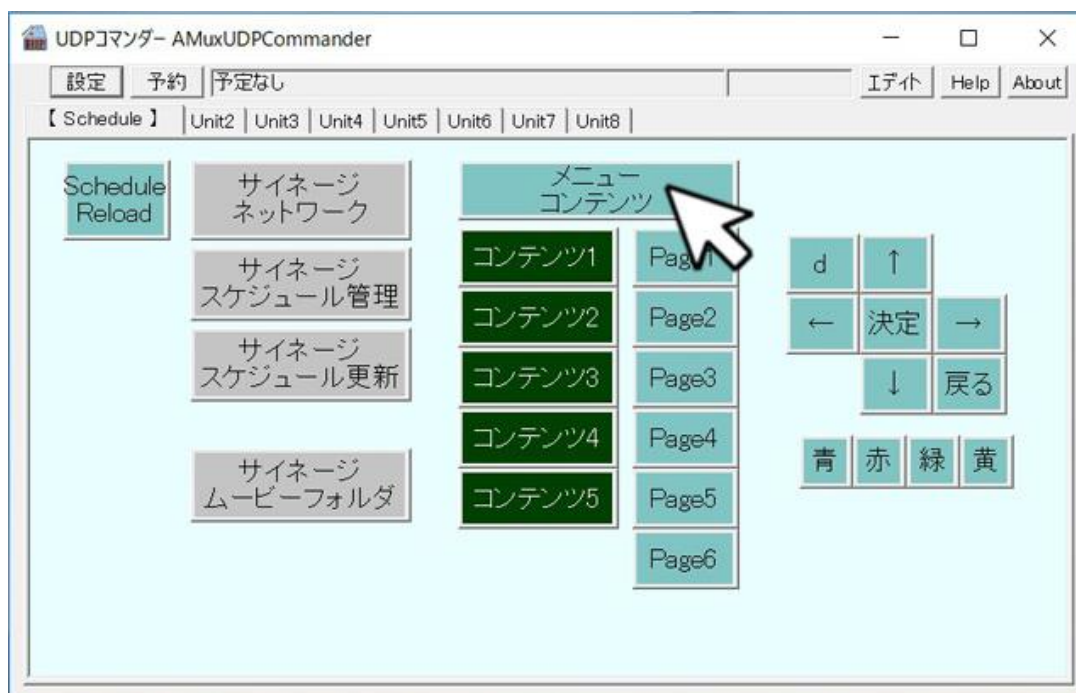


上記以外の伝送方法としては、
左図のようにメニュー下にある
アイコンの「データ送出」を
クリックします。

4.2 UDP コマンドで伝送したコンテンツをサイネージ端末に表示する

サイネージ端末にコンテンツを送信して転送成功を確認し、下図のUDP コマンド画面の「メニューコンテンツ」ボタンをクリックしてください。

- 参考：前のコンテンツがサイネージ端末に表示されている場合は、「メニューコンテンツ」ボタンをクリックしたときにコンテンツが上書きされ、伝送した新しいコンテンツがサイネージ端末に表示されます。



- 重要：サイネージ端末への「データ伝送が失敗」した場合や、UDP コマンドの「メニューコンテンツ」ボタンをクリックしても、伝送したコンテンツがサイネージ端末画面に表示されない場合は下記のことが考えられます。

- お使いの PC と同梱 Wi-fi ルーターが接続されているか確認してください。また、同梱のアンテナを取付けていない場合は、サイネージ端末の Wi-Fi アンテナ端子に同梱のアンテナを取付けてください。
 - 接続している Wi-fi ルーターの状態を「パブリックネットワーク」、あるいは「プライベートネットワーク」を交互に何度か切り替えて伝送してみてください。
 - Wi-fi ルーターの設置場所周辺に障害物がある、または距離が遠い。電波が混線している。
- ※展示会場等の多くの機器がある環境では伝送がうまくいかない場合があります。

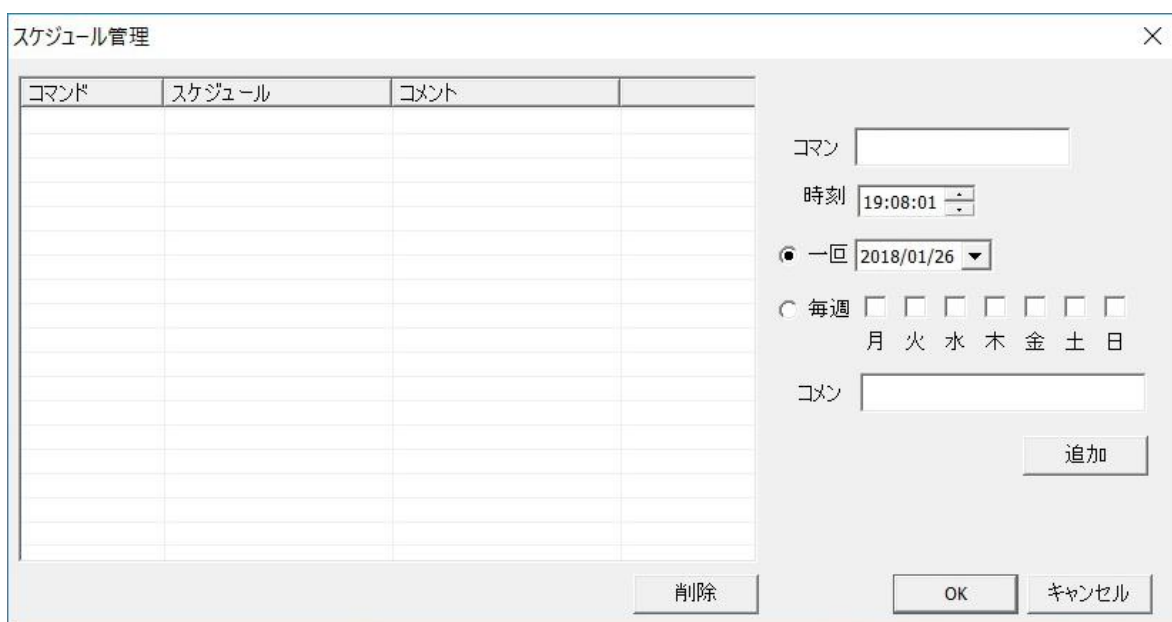
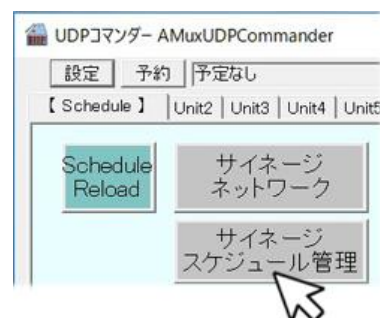
- 上記以外の問題。サイネージ端末の再起動、PC 側で起動しているソフトウェアの「エディットサイネージ」、「UDP コマンド」を一度終了し、ソフトウェアを再起動してください。

5. サイネージスケジュール管理ボタンを使用する

5.1 スケジュール設定をする

コンテンツを構成しているページから、特定のページを時間設定して表示することができます。「1回指定だけ」の表示時間設定、定期的に表示時間を設定できる「毎週曜日指定」が可能です。

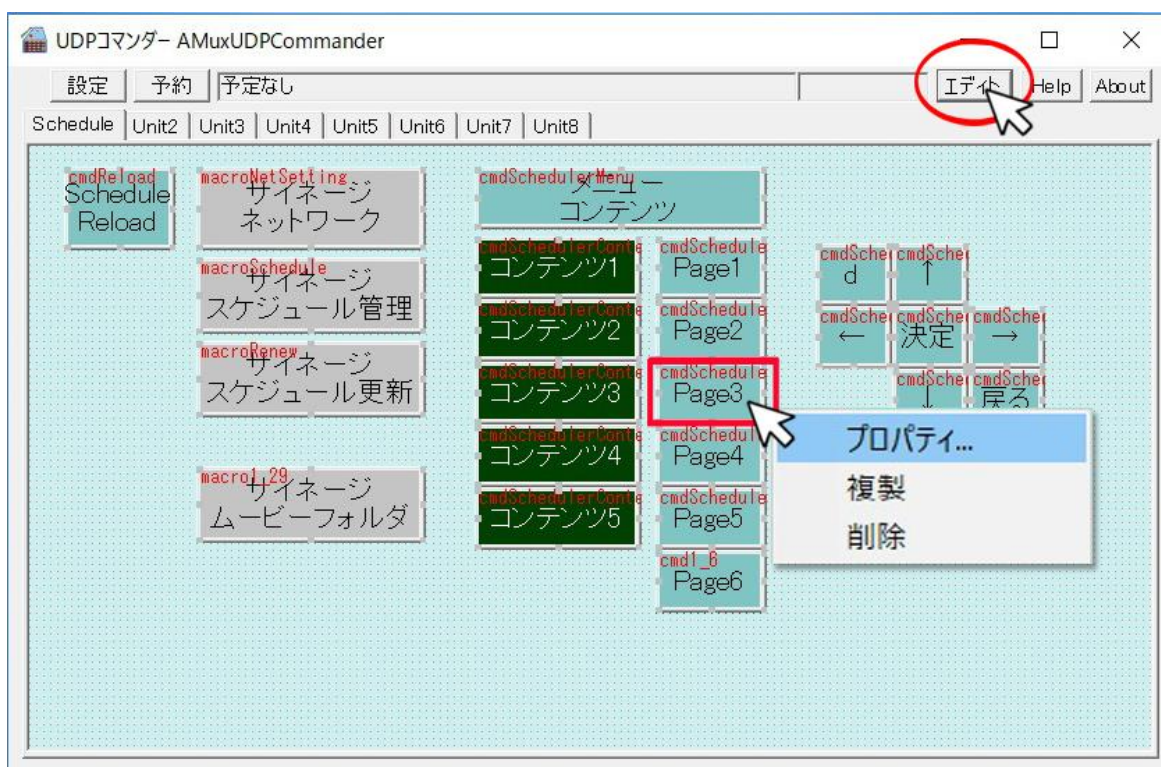
「サイネージスケジュール管理」ボタンをクリックしてください。下図のダイアログボックスが表示されます。このリストに特定のページを時間指定してサイネージ端末に登録していきます。ここでは「1回指定」の時間設定方法を説明します。



5.2 時間設定表示したいページのコマンドをコピーする

「特定のページをサイネージ端末に時間を指定して表示させる」には、表示するページを表したコマンドが必要です。これをコピーするため、「プロパティのダイアログボックス」を使用します。下図を確認してください。UDP コマンド画面で「エディット」をクリックしてください、「プロパティのダイアログボックス」が表示されます。

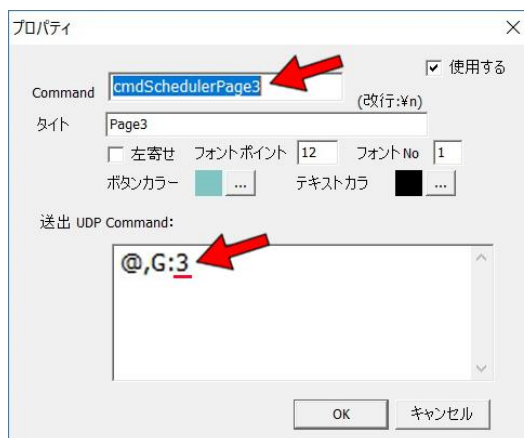
ここでは「Page3」ボタンの上で右クリックして「プロパティ」を選択します。



右図のダイアログボックスが「Page3」のプロパティです。「Command」欄のテキスト内容をコピーします。

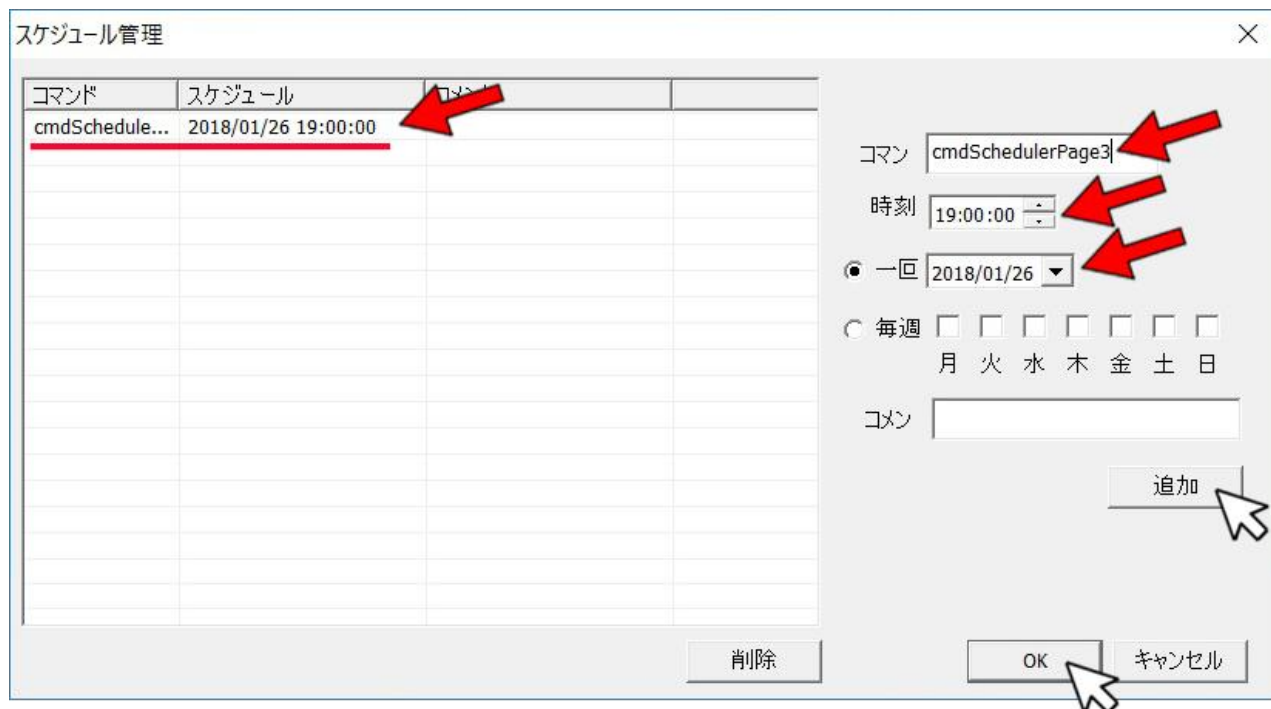
この「Page3」ボタンにはページリスト内の「ID 番号 3」が登録されています。

※赤線部分の「3」を他のページリスト内の「ID 番号」に設定することも可能です。



上記でコピーした「cmdSchedulePage3」を、4.1 項目で説明したスケジュール管理ダイアログボックスの「コマン (コマンド欄)」にコピーします。サイネージ端末に表示させたい「時刻」、「日付」も設定して「追加」ボタンをクリックしてください。左側の「コマンド/スケジュール」表に登録されます。(複数登録することも可能です)

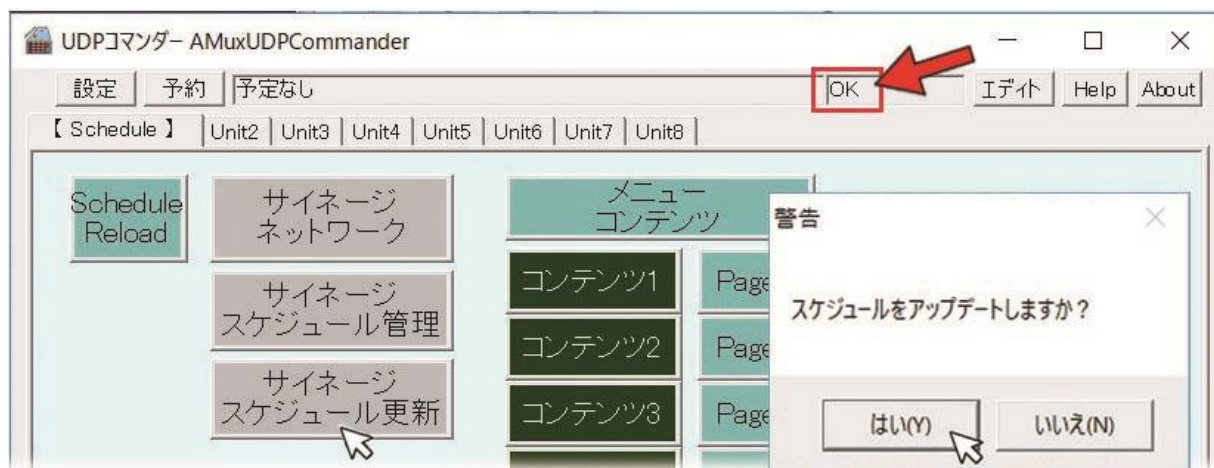
確認後に「OK」をクリックします。 下図を確認してください。



「作成したスケジュール設定」をサイネージ端末に送信するために「サイネージスケジュール更新」をクリックします。

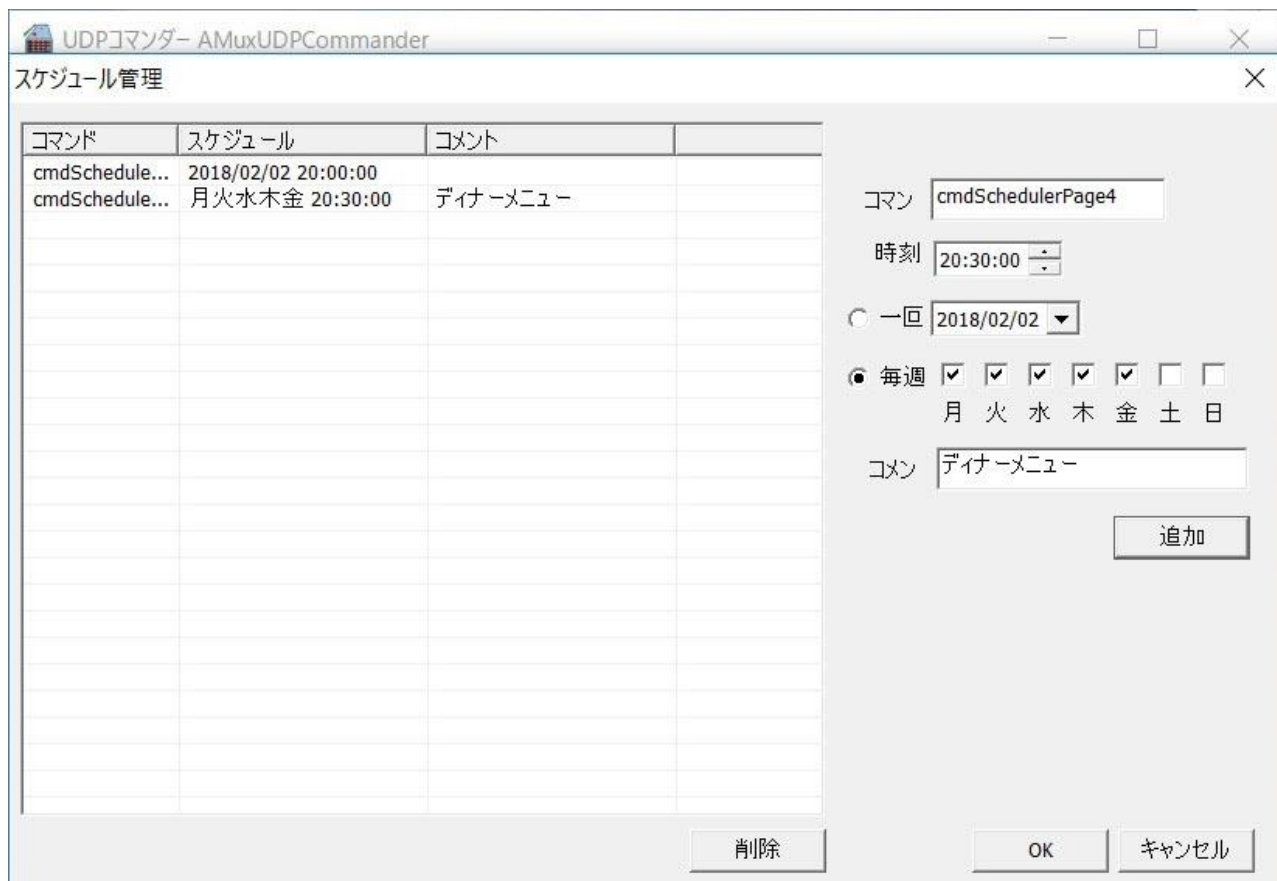
警告ダイアログボックスが表示されますので「はい」をクリックしてください。下図のように赤い矢印が示している「OK」が表示されたことを確認してください。

これで「サイネージスケジュール管理・更新」は完了です。サイネージ端末に設定したページが表示されるか確認してください。



5.3 スケジュールの週間表示設定をする

5.2 項目と同じ工程で週間設定が可能です。設定した時間毎のコンテンツに「コメント」を書くことも可能となっています。



上記の方法のほかに、「予約」ボタンから「スケジュール管理」を行うことも可能です。

ただし、この方法はサイネージ端末とお使いの PC が同じ Wi-fi ルーターに接続されていることが条件です、Wi-fi を切断すると設定したスケジュールはサイネージ端末に反映されません。（この設定の場合は PC に設定されている日付・時間に基づいて、PC から Wi-Fi を通してサイネージ端末へ表示指示が出ています）

手順は上記方法と同じであり、「1 回指定だけ」の表示時間設定、定期的に表示時間を設定できる「毎週曜日指定」が可能です。



6. コンテンツに動画を設定する

6.1 すでに準備されているコンテンツを使用して動画を設定してみる

バンドル版エディットサイネージには、いくつかの完成されたコンテンツが準備されています。これらのコンテンツをテンプレートとして使い、動画の設定方法を説明します。

■注意・バンドル版エディットサイネージは、コンテンツの画面に動画を再生した状態での表示ができません。

画面に動画再生を設定したボタンと動画を再生するアイテム（動画再生する枠）を設定し、ボタンをタッチすることで動画再生をスタートさせます。

・バンドル版エディットサイネージは、同一コンテンツ画面の中に複数の動画を設定することは可能ですが、再生できるのは1ヶ所です。

※動画再生中に、もう1ヶ所の動画再生を始めると最初の動画は停止します。

最初にテンプレートとして使用するコンテンツをメイン画面に表示します。

エディットサイネージのメニューから「ファイル」から「開く」を選択します。

「デスクトップ」→「エディットサイネージデータ」→「データフォルダ」→「コンテンツ」→「ランドスケープ」とクリックし、「ホテルメニューコンテンツ.bjpx」を選択して「開く」をクリックしてください。下図のコンテンツが表示されます。



6.2 アイテムを追加して動画再生を設定する枠を作る

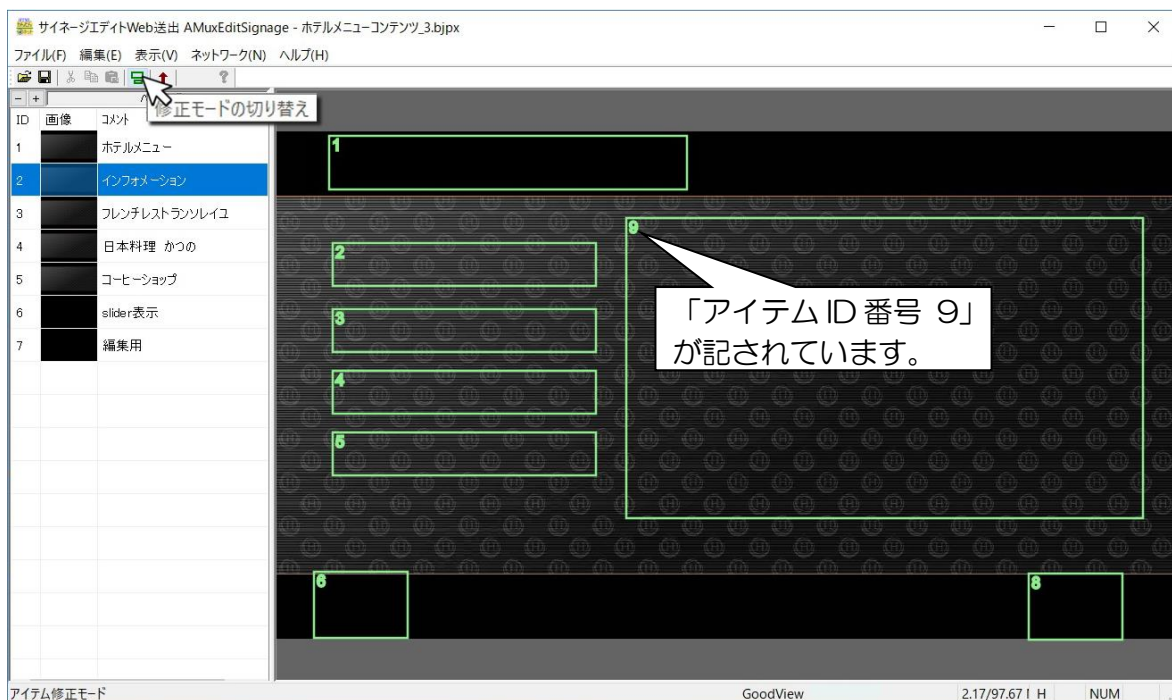
ページリストの「ID 番号2」に設定された「インフォメーション」のページに動画を再生する「枠」を追加します。これをアイテムといいます、下図を確認してください。



メニューの下にある「修正モードの切り替え」ボタンをクリックします。下図の状態が「デザインモード」です。この画面でアイテムを新たに追加していきます。



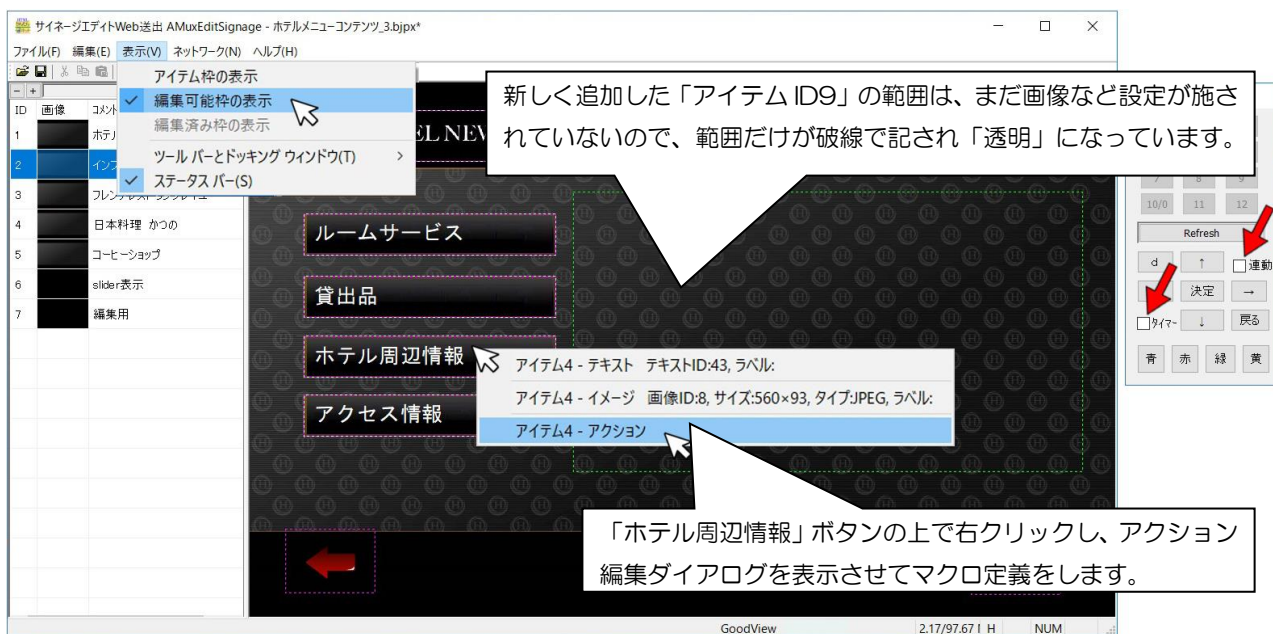
新しく追加したアイテムが緑色の枠で表示されました。枠の左上に9番がふってあり、これを「アイテム ID 番号」といいます。この番号はマクロ定義の際に使用します。



再度「修正モードの切り替え」ボタンをクリックして「デザインモード」を終了すると画像が設定されているアイテムは画像が表示されます。(アイテムID9は表示されません)

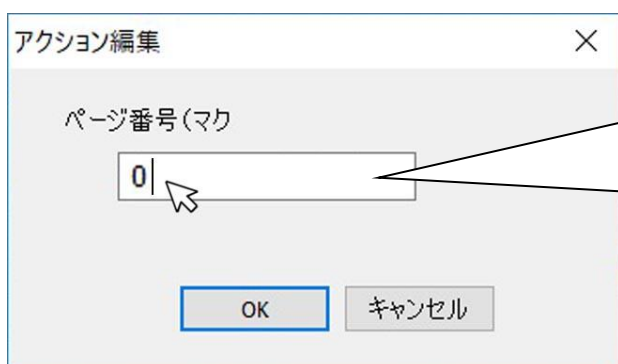
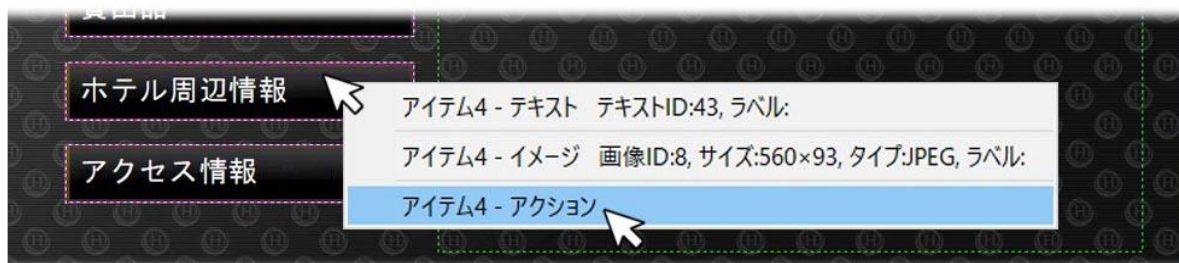
メニューの「表示」から「編集可能枠の表示」を選択します。各アイテムの範囲に破線が表示されます。「ホテル周辺情報」ボタンに動画再生のマクロ定義を記入します。

6.3 項を確認してください。 ※設定の前にリモコンパネルの連動とタイマーからチェックを外すことをお勧めします。



6.3 動画再生設定マクロを、他のコンテンツからコピーして使用する

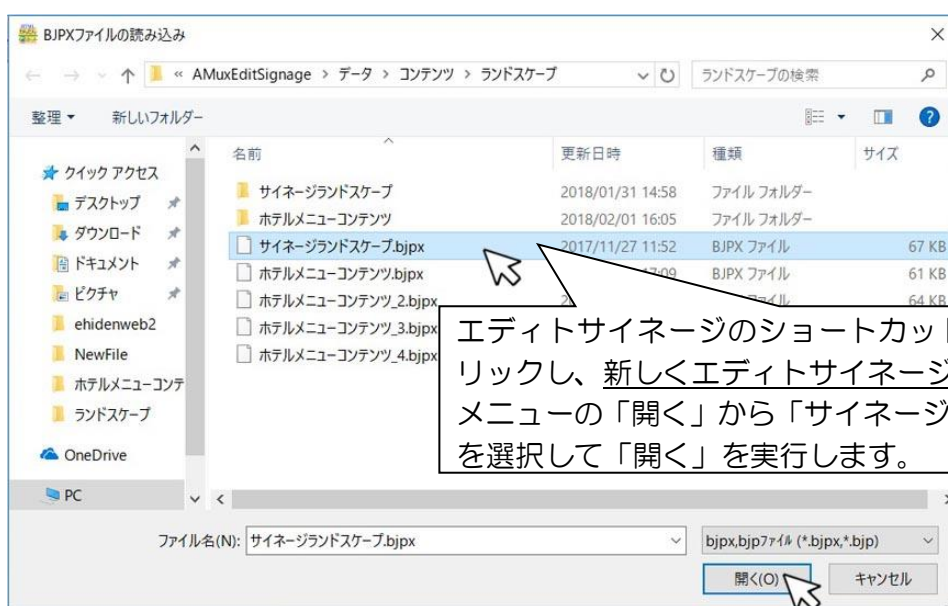
「ホテル周辺情報」ボタンの上で右クリックします、「アイテム4-アクション」を選択すると、「アクション編集ダイアログボックス」が表示されます。



「ページ番号（マク）」欄に、アイテム ID9 に動画を再生させるマクロ定義を設定します。
ここではマクロをコピーして使用します。
左図はマクロ定義が設定されていないため「0」となっています。

※アクション編集画面「ホテル周辺情報」ボタン

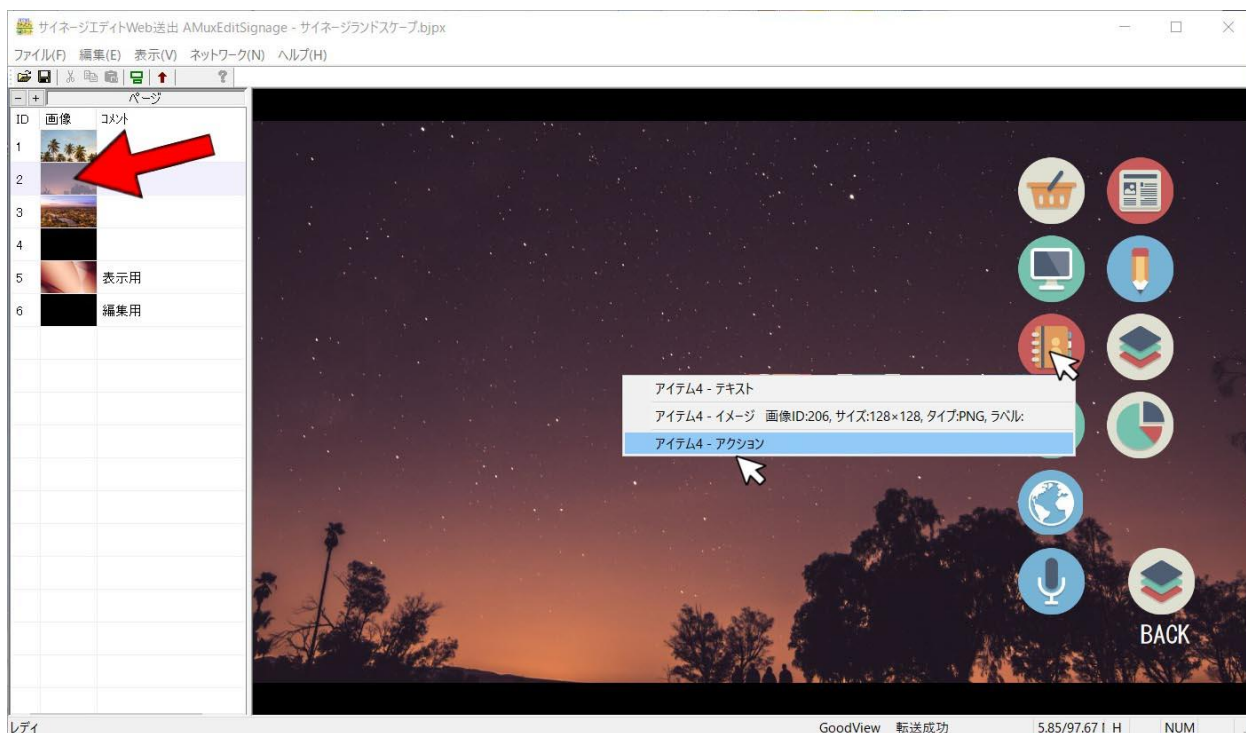
「ページ番号（マク）」に定義する動画再生マクロは、他のコンテンツ内に存在しているため、そのコンテンツをメイン画面に表示させ、マクロ定義をコピーし、動画再生先のアイテム ID 番号を修正して使用します。



エディットサイネージのショートカットアイコンをダブルクリックし、新しくエディットサイネージを表示してください。メニューの「開く」から「サイン-ジランドスケープ.bjpx」を選択して「開く」を実行します。

「メイン画面」に「サイネージランドスケープ.bjpx」が表示されます。「ページリスト」の「ID 番号2」をダブルクリックします（赤色矢印）。下図の画面が表示されます。

下図のようにカーソルをボタン上で右クリックし、「アイテム 4-アクション」を選択してください。「アクション編集ダイアログボックス」が表示され、そのボタンに設定されているマクロ定義が確認できます。

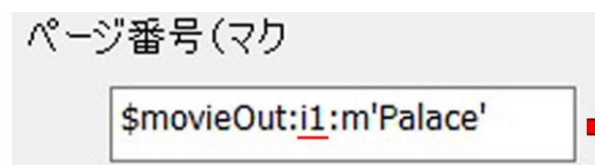


※ アクション編集画面「サイネージランドスケープ」
→ ページ ID2 → アイテム ID4 → アクションのマクロ

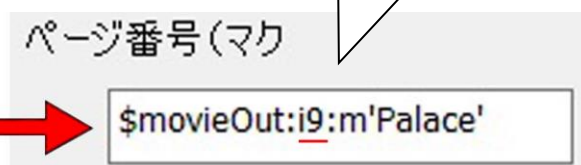
左図「ページ番号(マク)」に表記されているマクロをすべてコピーしてください。

前ページで開いた「※アクション編集画面ホテルメニューコンテンツ」の「ページ番号(マク)」欄にコピーし、「i1」→「i9」に修正して「OK」します。(スペース不可)

- 「i」はアイテムを意味しています。
- 「数字」はアイテム ID 番号を意味します。



※マクロ定義コピー元のアクション編集画面からコピー



※アクション編集画面「ホテル周辺情報」ボタン

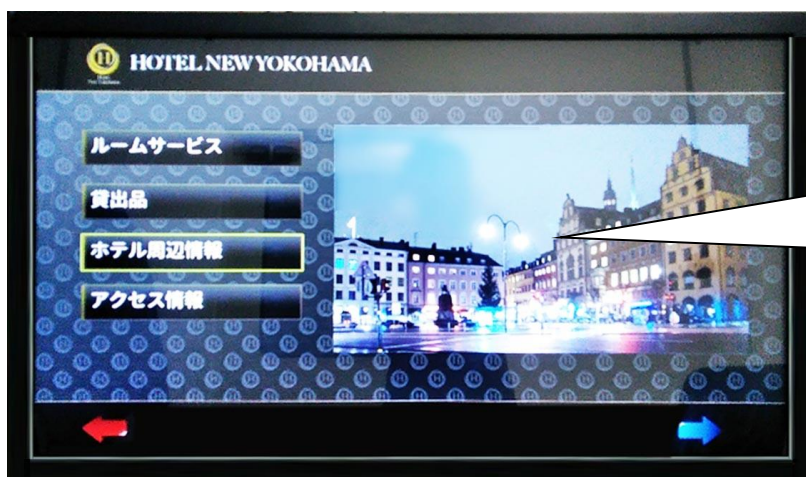
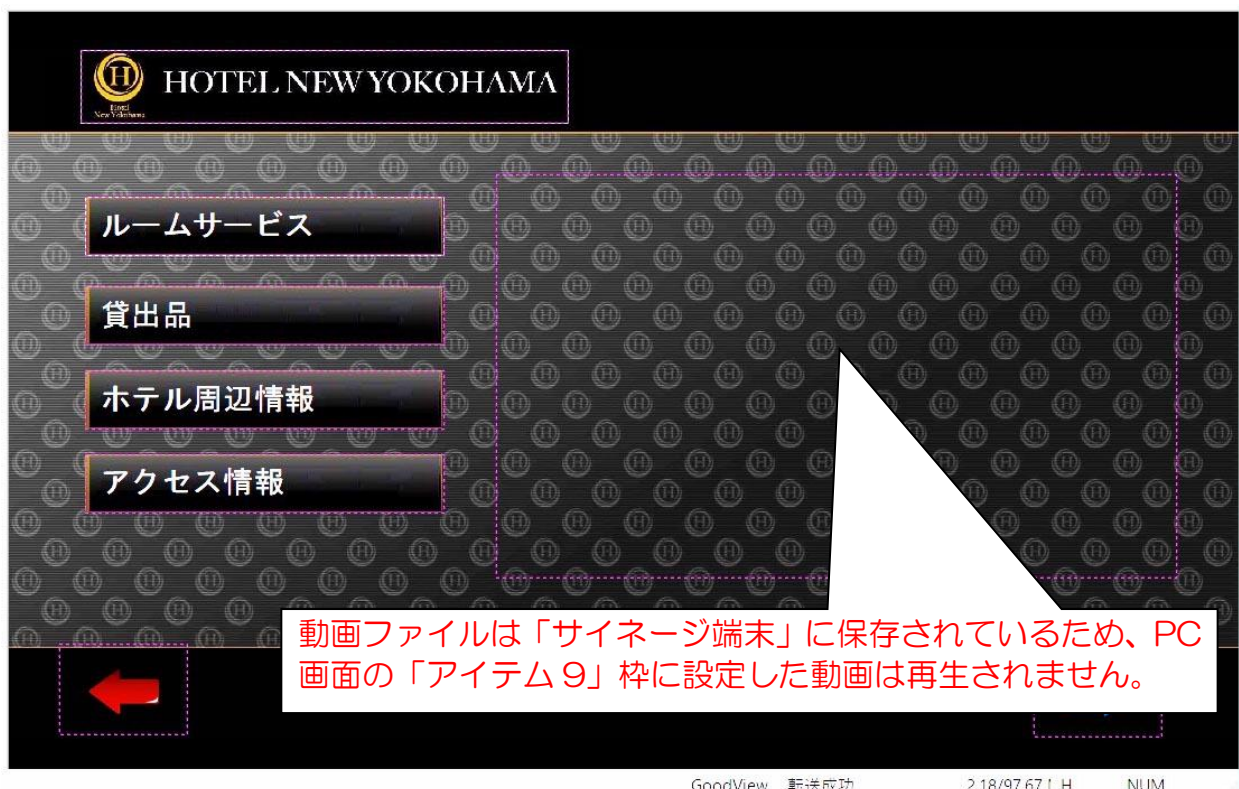
これで動画の設定は完了です。サイネージ端末の「ホテル周辺情報」ボタンをタッチすると「アイテム9」の枠内に設定した動画を再生します。

■注意：PC に表示されている「メイン画面」で、上記のボタンをクリックしても「アイテム9」に動画は再生されません。

設定した動画データ自体が「サイネージ端末に保存」されているため、PC では再生・表示することができません。

本書 4 項を確認してください。

コンテンツをサイネージ端末に伝送し、「UDP コマンド」の「メニューコンテンツ」をクリックしてサイネージ端末に表示させて確認してください。



- 参考 1：上記で使用した動画再生マクロの説明をします。マクロを設定したボタンをクリックすると、指定した「アイテム ID 番号の枠」に動画を再生します。

ページ番号(マク

`$movieOut:i9:m'Palace'`

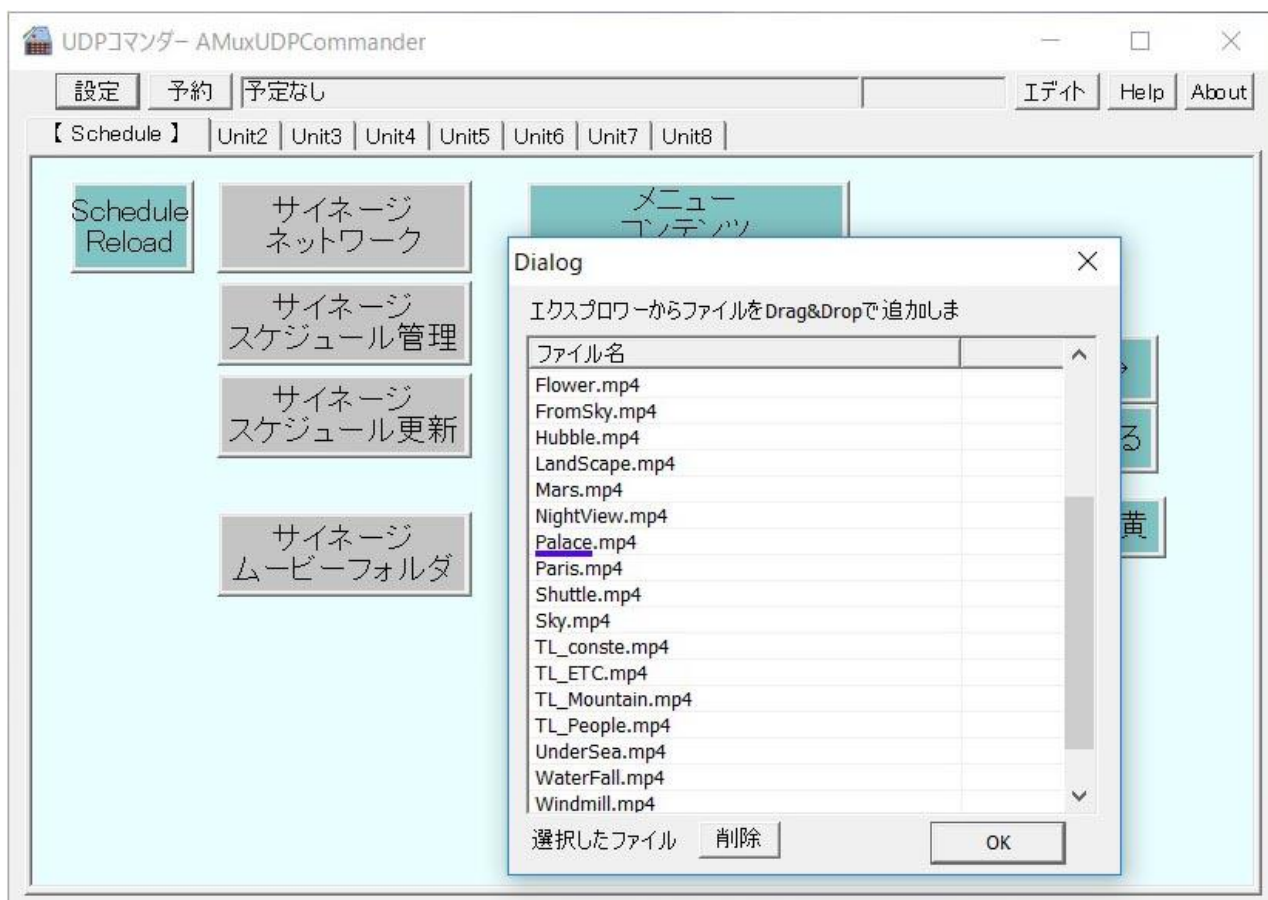
「アイテム ID 番号」を示しています。動画を再生するアイテム枠の番号を示しています。

動画ファイルの名前です。左右の記号はアポストロフィです、「Shift+7」で表記します。

※デフォルトでサイネージ端末に保存されたムービーファイルは、UDP コマンドーの「サイネージムービーフォルダ」をクリックすると「Dialog」ボックスが表示されて確認できます。

※新しいムービーファイルを追加したい場合は、「Dialog」ボックスにムービーファイルをドラッグ&ドロップでサイネージ端末に追加・保存されます。

※「Dialog」ボックスはムービーファイルを削除する機能も持っています。



- 参考 2：複数の動画を連続で再生する場合、また、それをループ再生するマクロ設定も可能です。下図を確認してください。



上図のマクロ定義は、「ページ番号(マク」の欄が小さいためにすべて表示されていません。
 左のマクロが全定義です、「\$movieOut:i2:m' Sky' /'Palace' :1」となっています。

- ※「Sky」と「Palace」という名の動画ファイルを連続で再生し、さらにこれをループ再生します。(に Sky→Palace→Sky・・・の流れで繰り返し再生)
- ※マクロ定義末尾一つ前の「1 (Lの小文字)」はループを表しています。
- ※マクロ定義末尾の「1 (数字の1)」は「ループする」を表します。
- ※マクロ定義末尾に「0 (数字の0)」を設定した場合は「ループなし」を表します。

- 参考 3：下記は「movieOut」マクロ定義の主な概要です。

機能	mp4 動画ファイルを再生するライブラリです。動画設定前に UDP コマンドで素材動画 (MP4 のみ) をサイネージ端末に伝送してください。
マクロ定義例	\$movieOut:i2:m' Sky' /'Palace' :10
i (Iの小文字)	アイテム ID 番号を表します。
m	mp4 動画ファイル名を指定します。動画ファイル名はアポストロフィ (') で挟みます。複数の場合は (/) で区切ります。
l (Lの小文字)	0:(数字の0)ループしない (default) 1:(数字の1)ループする

7. JPEG コンバーターについて

デスクトップの「サイネージ編集」フォルダ内の JPEG コンバーターアイコンをダブルクリックすると「AMuxJPEGResizer」が起動します。

これは各種フォーマット画像のサイズを自在に変更することができるソフトウェアです。表示された「AMuxJPEGResizer ダイアログボックス」の範囲上ならどこでもかまわないので画像サイズを修正したいファイルをドラッグ&ドロップしてください。

「NewFile」フォルダがデスクトップに自動作成され、その中にサイズ修正した画像ファイルが格納されます。画像ファイルはこのフォルダから選択しても、8.2 項で説明した「エディットサイネージデータフォルダ」内の「ホテルメニューコンテンツフォルダ」に移動しても使用できます。

※元画像をフォーマット変更：JPG、PNG、GIF、BMP、TIFF、EXIF、WMF を JPG に変更。



画像の拡大・縮小時の縦横比率や基準点を選択。

サイズ変更した元のファイルの名前を変更してデスクトップに表示します。

「サイズ変更なし」にチェックすると、画像のサイズを変更しないでコピーを指定のフォルダに保存します。

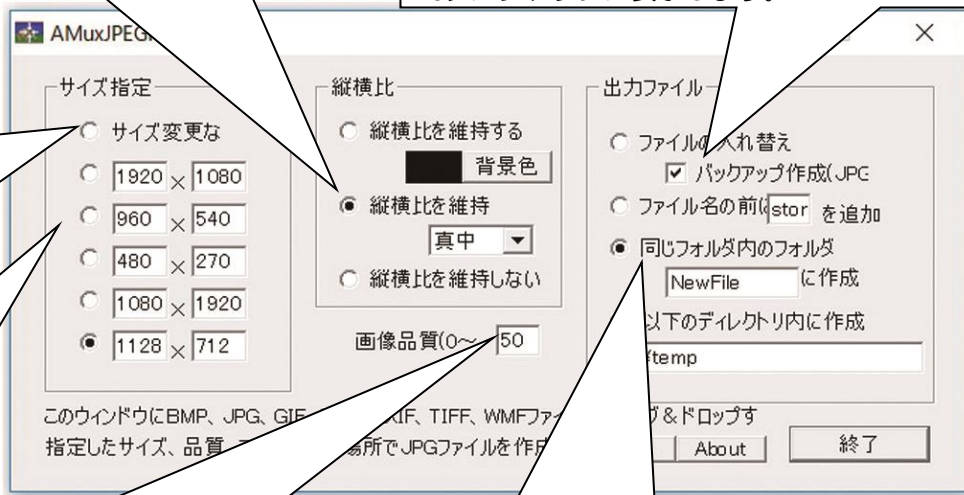
チェックで希望数値の画像サイズに変更できます。数値の設定も可能です。変更した数値は保存されます。

数値を変更して画質調整ができます。

適正値は 50~60 をお勧めしますが、変更後の画像サイズが大きすぎた場合は修正が必要です。設定した数値は保存されます。

数値は 0~100 (最高画質) まで設定可能です。画像は可能な限りは軽くすることをお勧めします。

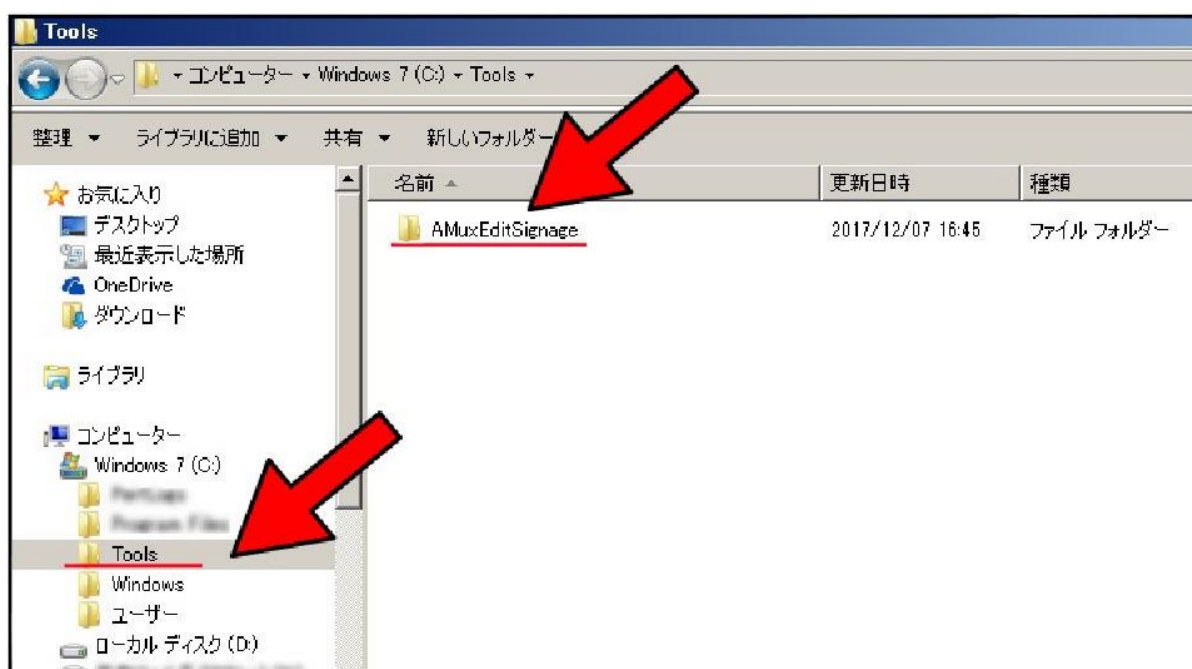
画像サイズ修正をしたファイルを保存するフォルダの設定です。この場所にチェックすると、元データがデスクトップにある場合は「NewFile」フォルダも自動でデスクトップを作成され、その中に変更した画像を保存します。



8. バンドル版「エディットサイネージ」をPCにコピーする

8.1 コンピューターのWindows(C:)の直下にフォルダを作成する

お使いのWindows PCの「C:ドライブ」直下に新しくフォルダを作成します、ここではフォルダ名を「Tools」とします。※本ソフトウェアにインストーラーは必要ありません。

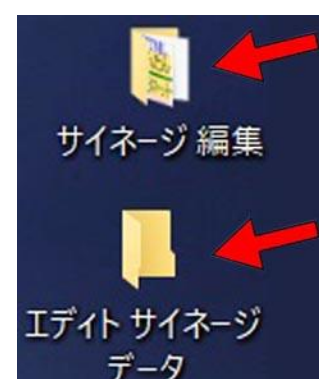


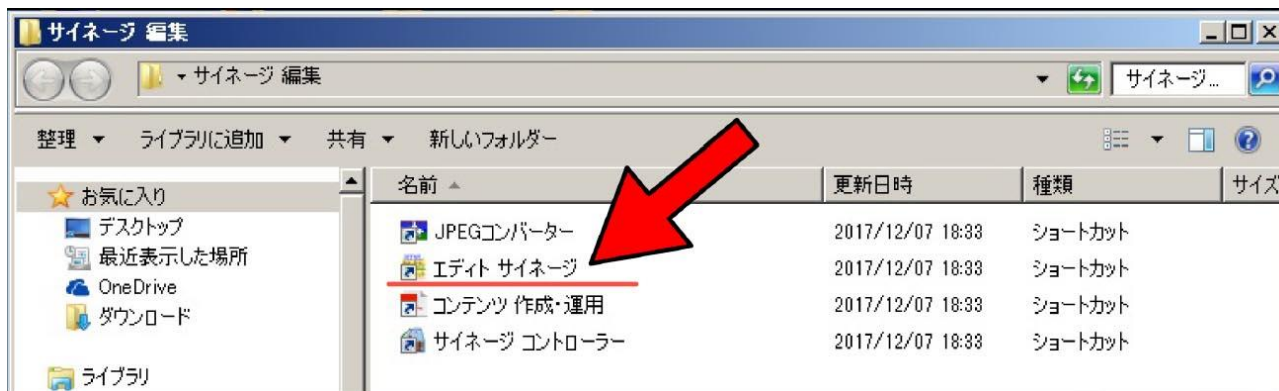
上記で作成した「Tools」フォルダに「AMuxEditSignage.zip」をダブルクリックして解凍した「AMuxEditSignage フォルダ」をフォルダごと「C:ドライブ」にコピーしてください。

「Tools」にコピーした「AMuxEditSignage フォルダ」をダブルクリックすると「MakeShortCut ファイル」があります。これをダブルクリックして「実行」もしくは「開く」を選択してください。

デスクトップに「サイネージ編集」と「エディットサイネージデータ」の二つのフォルダができます。

「サイネージ編集」フォルダ内に「エディットサイネージ」のショートカットアイコンがあります。ダブルクリックして「実行」を選択するとエディットサイネージが起動します。





※エディットサイネージが起動しない場合は、「AMuxEditSignage フォルダ」の中にある「vcredist_x86_2010.exe」を実行してマイクロソフト MFC ライブラリをインストールしてください。(windows10 や、その他の OS においてもすでにインストールされている場合は不要です)

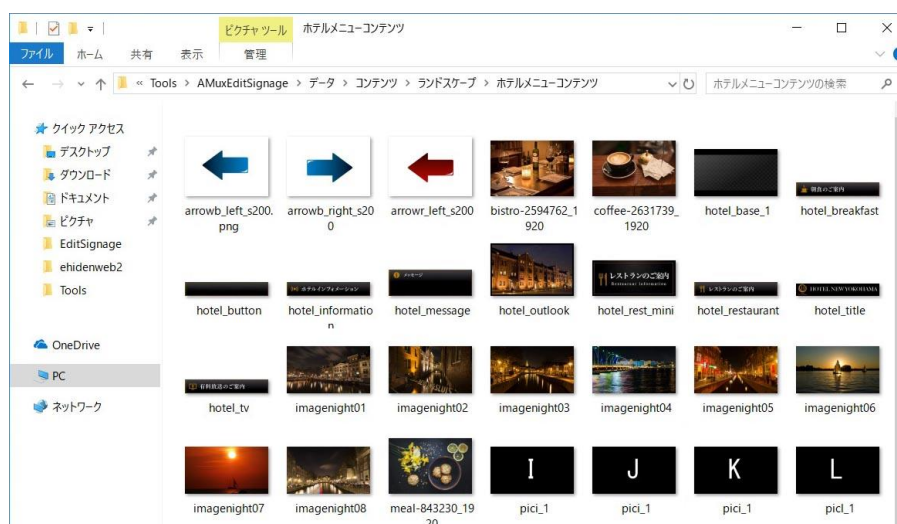
※上記と同じフォルダに「コンテンツ作成・運用.pdf」ファイルがありますのでお読みください。

8.2 「エディットサイネージデータ」フォルダについて

フォルダには「データフォルダショートカット」アイコンがあります。

この中には「コンテンツ」と「テンプレート」フォルダがあり、すでに完成されたサンプルコンテンツや、それに使用された素材画像が入っています。

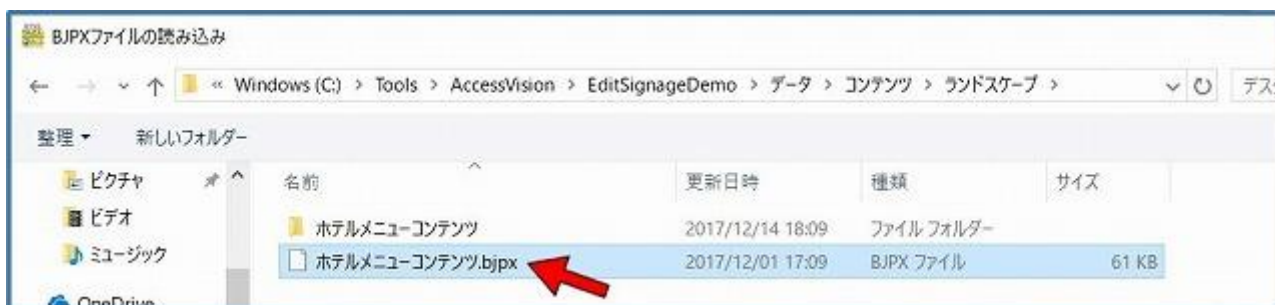
必要に応じてこれらのサンプルコンテンツをベースとして使用して新しいコンテンツを作成可能です。



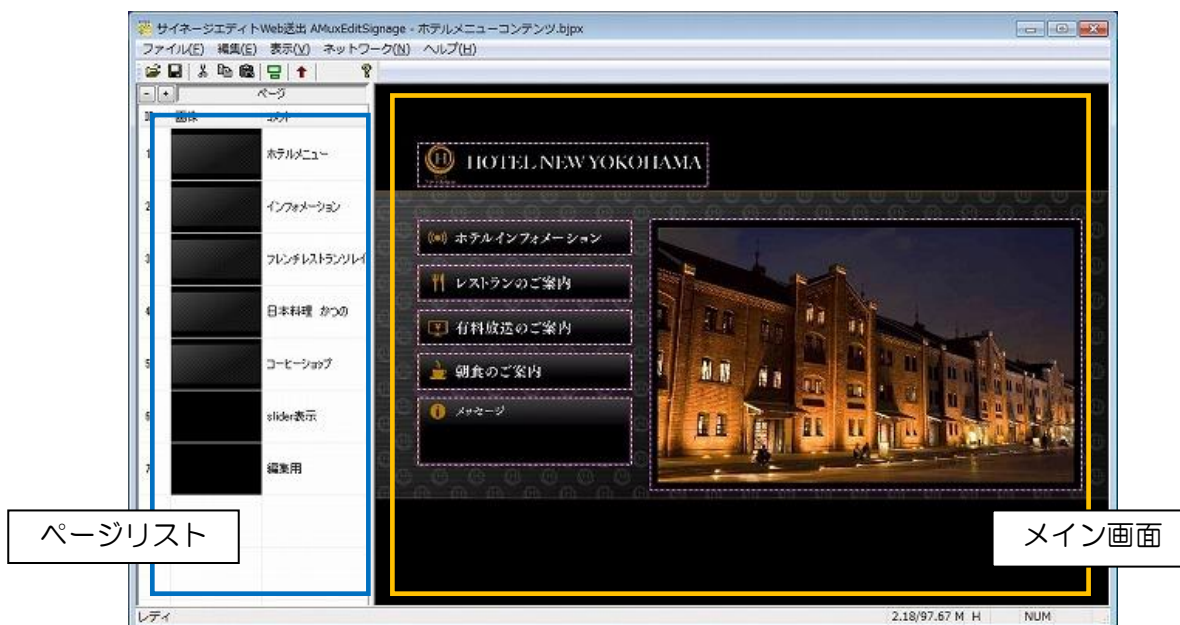
9. サンプルコンテンツの再生と利用

「メニューバー」の「ファイル」から「開く」を選択します。すでに完成しているサンプルコンテンツ「ホテルメニューコンテンツ.bjpx」を指定して開きます。

C:\Tools\AMuxEditSignage\データ\コンテンツ\ランドスケープ\ホテルメニューコンテンツ.bjpx



サンプルコンテンツ（ホテルのご案内ページ）が表示されます。しばらくすると文字のスクロールや画像のスライド再生が始まります。メイン画面の表示が実際のサイネージでの表示をイメージしたものであるため、タッチの代わりにクリックすることで、対応したページが表示されるなどシミュレーションすることができます。



※サンプルコンテンツ「ホテルメニューコンテンツ.bjpx」を含むエディットサイネージコンテンツファイルはエクスプローラーから直接メイン画面にドラッグ&ドロップすることで開くことができます。



※サンプルコンテンツの画像・動画・アクション設定を変更することで新しいコンテンツを手際よく作成できます。